

令和3年7月16日から19日にかけての暖湿気流入による大雨について (愛媛県の気象速報)

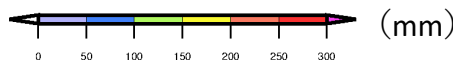
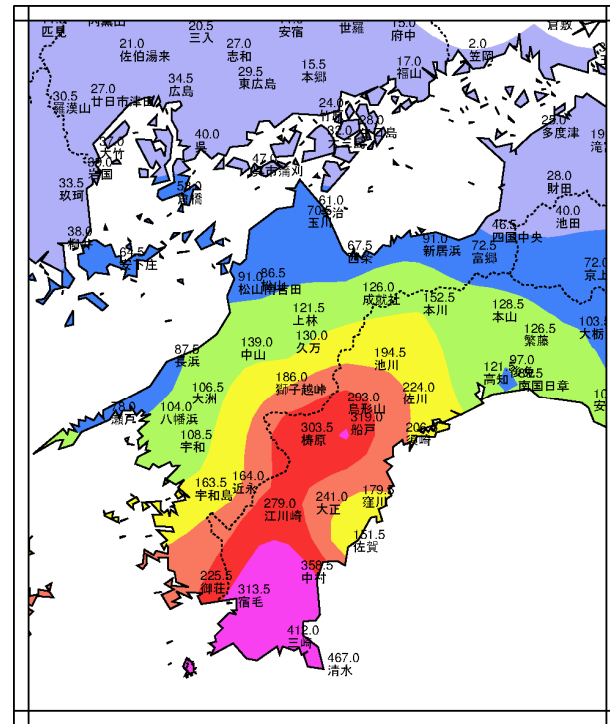
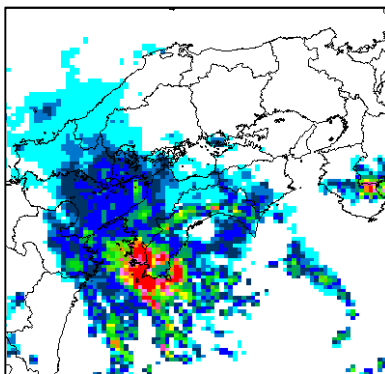
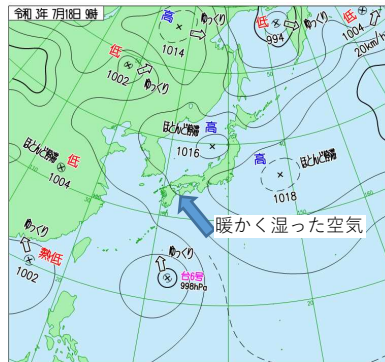
この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

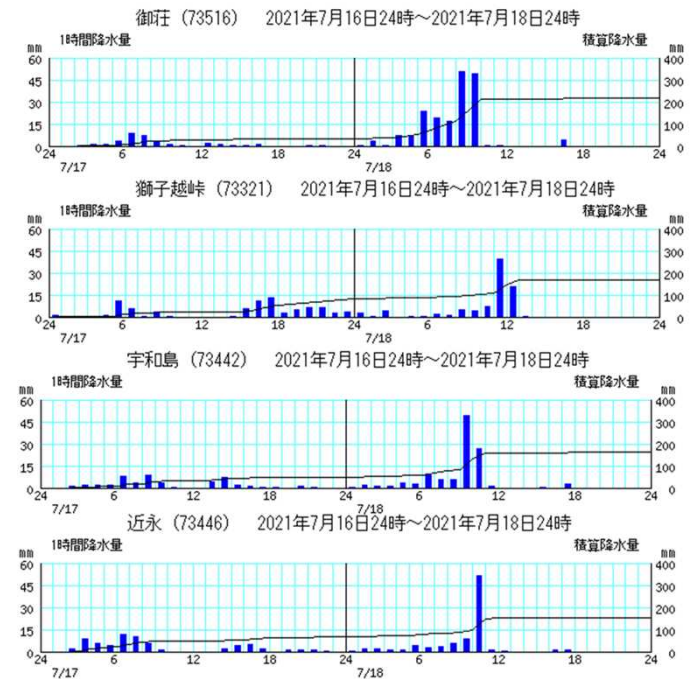
7月16日から19日にかけて、日本の東にある高気圧の縁を回って暖かく湿った空気が四国地方に流れ込み、大気の状態が非常に不安定となり、愛媛県では南予を中心に大雨となりました。

7月18日には、愛南町御荘では1時間降水量の日最大値として74.5ミリを観測し、観測史上1位を更新、宇和島では1時間降水量の日最大値67.0ミリを観測し、7月としての1位の値を更新しました。

この大雨により、久万高原町では床下浸水3棟、愛南町では床下浸水18棟の住家被害がありました。また、愛南町で、河川被害が2か所ありました。【被害状況:愛媛県災害警戒本部(19日09時現在)による】



降水分布図(7月16日02時~19日09時)



降水量時系列図(7月17日00時~18日24時)

※横軸は時刻を示す。
※降水量棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す(単位mm)。

7月18日09時00分 レーダー画像